

第4次 中川区地域福祉活動計画 体系図

理念

和輪話わっ!!とみんなできつくりう支えあいのまち

基本目標

A

みんなが
役割を持って
つながれるまち

B

みんなが
認め合えるまち

C

みんなが健康で
安全に、安心して
暮らせるまち

3つの柱

第1の柱
『地域の応援団』づくり



第2の柱
『地域のえんがわ』づくり



第3の柱
『福祉専門職の
プラットフォーム』づくり



実施項目

実施項目1

『地域の応援団』
バンクの運営

地域活動や福祉活動を通じて“人と人がつながる”ことを応援します。また、ご協力いただける個人・法人を把握し、啓発活動から個人の生活上の困りごとと解決ボランティア活動まで、広く活躍のフィールドを用意します。

実施項目2

『応援団』の
地域交流会の開催

お住まいの地域の中で、『地域の応援団』バンクにて把握した協力者、地域ボランティア等が交流を深めるとともに、よりいっそう住みよい地域となるよう、今日的な福祉課題からご近所で行く困りごとまで共通理解できる機会をつくります。

実施項目3

セカンドステージ
セミナーの開催

住み慣れた地域で、これまでの知識や経験を地域に活かし、いきいきとしたセカンドステージを過ごせるようセミナーを開催します。セミナー参加者にボランティア活動や地域活動の経験の有無に関わらず、参加いただけるように情報提供を行います。

実施項目4

誰でも気軽に
立ち寄れる
オープンカフェづくり

多世代交流・地域交流・福祉学習など目的別、福祉施設・商業施設・テントなど会場別の多様な集いの場を地域の皆さまに提案し、想いを受け止められる場を作ります。また、子育て、健康や介護予防、障がいなどの福祉に関する話題の他、防災・防犯など暮らしに必要な情報提供を行います。

実施項目5

ふれあい・いきいき
サロンの支援

住民主体で行うサロン実践者の交流会を開催し、誰もが気軽に参加できるサロンの活性化を図るとともに、サロン実践者の意見などを参考にさらなる普及啓発を図ります。また、ボランティアや専門職による相談なども、要望に応じて調整します。

実施項目6

福祉専門職が
連携できる
環境づくりと協働

区内の児童・障がい・高齢分野などの専門職が会し、生活困窮、ダブルケア^(※3)、8050問題^(※4)など単一分野では解決できない問題について学び、円滑な連携を図ります。また、協働により住民から多様な福祉相談に応じられるような仕組みづくりを進めます。

(※3) ダブルケア：子育てと親の介護の両方に直面する状態。育児と介護を同時期に担うことで、育児と介護の両方の責任や負担が重なること。
(※4) 8050問題：ひきこもりの長期化、高齢化から引き起こされる社会問題。主に50代前後のひきこもりの子どもを80代前後の親が養っている状態。